

魚類図鑑

注意：全長は、ふつうに見られる中で最大の大きさです。

シマヨシノボリ

スズキ目ハゼ科

全長：約7cm



■解説

ほほに赤いしまようがあり、胸びれつけ根に薄い三日月形のもようがあります。

一生の間に海と川を行き来するものと、湖と川を行き来するものがあります。石の下に卵を産みつけ、オスが卵を保護します。卵からふ化するとすぐ海に下り、2～3ヶ月をすごした後に再び川に上ってきます。

■食べているもの

雑食性で、川底の石についた藻類や小型の水生昆虫などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

■主な生息環境

河川域
ワンド 淵 瀬

■生活型

回遊魚

■：主な確認範囲

ウツセミカジカ

カサゴ目カジカ科

全長：約17cm



■解説

目からえらに向けて2本の黒い帯があることなどで区別されます。

石の下に卵を産みつけ、オスが卵を保護します。卵からふ化するとすぐ海に下り、1～2ヶ月をすごした後に再び川に上ってきます。



ウツセミカジカと卵

■食べているもの

肉食性で、水生昆虫、上流から流れてきた昆虫、小魚などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

■主な生息環境

河川域
ワンド 淵 瀬

■生活型

回遊魚

■：主な確認範囲

オオヨシノボリ

スズキ目ハゼ科

全長：約10cm



■解説

胸びれのつけ根に黒いはっきりとしたもようがあります。

石の下に卵を産みつけ、オスが卵を保護します。卵からふ化するとすぐ海に下り、2～3ヶ月をすごした後に再び川に上ってきます。

ヨシノボリの仲間の中では大型になるのでこの名前が付けられました。

■食べているもの

雑食性で、川底の石についた藻類や小型の水生昆虫などを食べています。

■現地調査での確認範囲

下流域 中流域 上流域

■主な生息環境

河川域
ワンド 淵 瀬

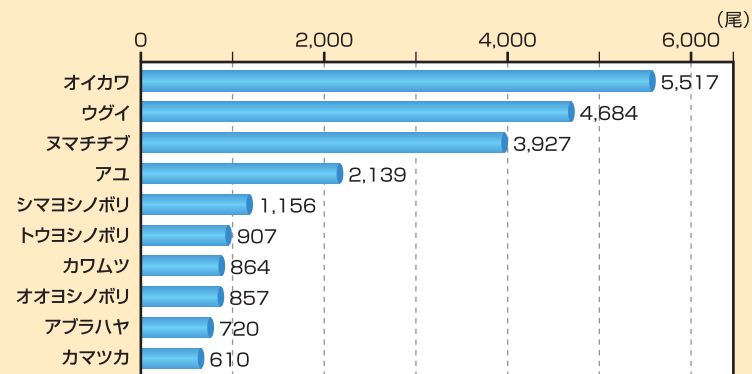
■生活型

回遊魚

■：主な確認範囲

天竜川でよく見られる魚は？

平成15～17年度にかけて実施した調査によると、静岡県内の天竜川で、捕獲個体数が最も多かったのは、オイカワ、ウグイ、ヌマチチブ、アユなどでした。



捕獲個体数の多かった魚トップ10(平成15～17年度)